

# 県立学校開放講座「親子でチャレンジ2014」を振り返る

千葉県立松戸向陽高等学校

## 1 日程

平成26年7月28日（月）から30日（水）までの3日間（午前中）

- 7月28日（月）「おもしろ理科実験」
- 29日（火）「親子でエコたわしづくり」
- 30日（水）「親子で福祉体験」

## 2 場所

千葉県立松戸向陽高等学校（化学実験室、生物室、図書室、多目的室等）

## 3 目的

小学校中・高学年の児童とその保護者を対象として、夏休み中に、福祉・理科・家庭科の分野で学ぶ機会を設けるなど、親子でふれあう時間を設定する。親子が協力して理科実験をおこなうことにより、不思議さやおもしろさを体感させる。エコたわしづくり、福祉体験をすることで、親子で一緒に学び、作業することで、親子の絆を深めてもらうとともに、今後の生活の中で、何を考えて行動していけばよいのかを考えさせるなど、福祉マインド育成の第一歩とした。

## 4 対象及び参加者

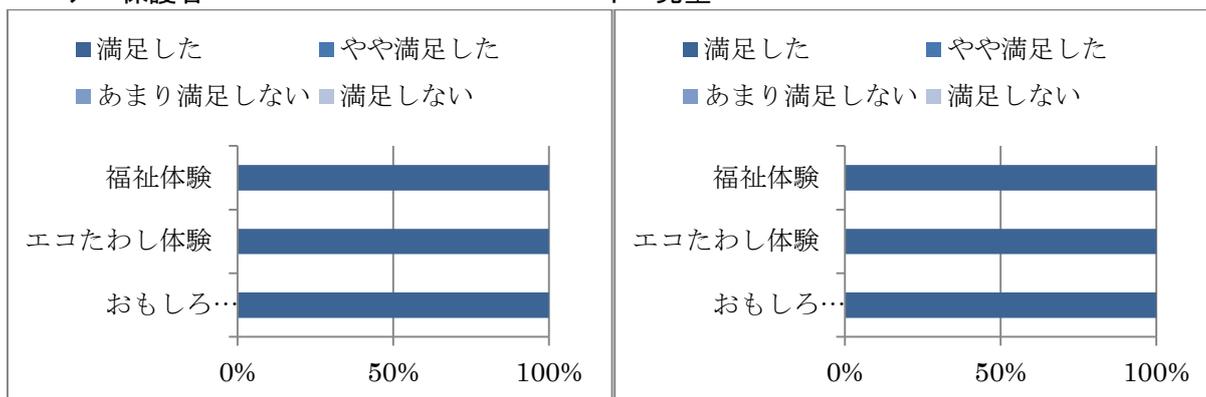
小学校（3年生～6年生）児童とその保護者、15組30名を対象とする。  
実際に申し込みがあったのは、2組6名の親子である。

## 5 アンケート結果

### (1) 満足度

#### ア 保護者

#### イ 児童



### (2) 開放講座に参加して感じたこと

#### ア 保護者の感想

- ・理科実験では久しぶりに薬品を使ったりしてワクワクしました。
- ・子供がガスを扱えることを初めて知ってうれしかった。
- ・海ほたるが、ザリガニっぽい臭いでおもしろかった。
- ・理科実験では、目で見てわかるような、子供にも興味が持ちやすい授業で、内容もわかりやすかった。
- ・エコたわしでは、実用的で、かつ環境のことも勉強できて、とても楽しかった。是非今後も作って使用したいと思いました。
- ・エコたわしでは、指編みを初めて体験して、とても楽しく自宅でも作ってみました。楽しくて地球に優しいならどんどん活用したいです。
- ・福祉体験では障害のある方の気持ちになって考えると、まだまだ環境が整っていないと痛感しました。基準を満たせばよいという考えが多いのは残念です。子供たちにはそう思わないようにしてもらいたい。
- ・親子ともども貴重な経験ができた。
- ・福祉体験では、普段できない体験の中から、今まで気がつかなかったことを知ることができた。

#### イ 児童の感想

- ・楽しかった。
- ・とてもたのしかった。実験したこと、毛糸でエコたわしを作ることができた。

- ・福祉体験では、白状を使っているときはとても不安でした。車いすの体験はとてもおもしろかったです。
- ・オオクワガタをもらえてとてもうれしかった。
- ・エコたわしでは、指編みがとても好きになりました。
- ・いろいろな体験ができてよかった。
- ・まだ、知らないことがたくさんあることがわかった。

(3) 今後、開放講座でとりあつかってほしい内容

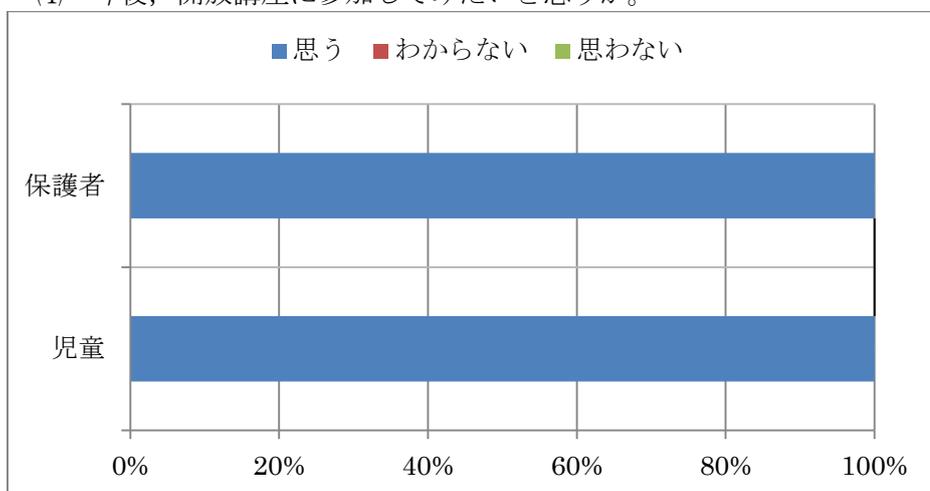
ア 保護者

- ・石けん作りなど家庭ではできないことをしてみたい。
- ・入浴の介助をしてみたい。
- ・ウーパールーパーについて調べてみたい。
- ・毎年楽しい講座をありがとうございます。親としてもとてもありがたい。

イ 児童

- ・生物の観察。
- ・プラナリアを切ってみたい。
- ・工作で機械を作ってみたい。

(4) 今後、開放講座に参加してみたいと思うか。



6 記録（本校ホームページより）

(1) 親子で理科実験（第1日目） 7月28日（月）

本校で行われた「親子でチャレンジ2014」の初日を迎えました。本日のメニューは、おもしろ理科実験でした。1部では、化学室でポップコーンはなぜ膨らむのという実験をしました。トウモロコシを使つての実験でした。また、各海岸で採取した砂を顕微鏡で見比べ、その違いを確認しました。1部の最後は、酢酸に、エタノールやメタノールなどの薬品を混ぜて、濃硫酸を触媒に使いいろいろなにおいを作る実験をしました。第2部では、酵素の実験を行いました。場所を生物室に移して、オブラートにだ液と水をおき、その変化の確認をしました。また、海ホタルを使って発光について学習しました。小学生の皆さんはとても頑張っていました。

本日使用した資料 [（第1部 ポップコーン他）](#) [（第2部 酵素の実験）](#)





(2) 親子でエコたわしづくり体験（第2日目） 7月29日（火）

今日は家庭科の講座「エコたわしを作ってみよう」が行われました。担当の先生から、エコたわしは、洗剤の使用量を削減し環境への配慮につながるなどとの解説があり、実験で試してみました。黒ずんだコーヒーカップが水だけできれいになる様子に、参加した小学生の皆さんはとても驚いたようです。実際の製作では、指に毛糸を巻きつける「手編み」や、紙パックを利用した方法などを体験しました。選択科目で「被服製作」を学ぶ本校生徒がアシスタントとして参加し、「お手伝いできて楽しかった。（3年・Kさん）」、「小さなお子さんとのふれあいが嬉しかった。（3年・Mさん）」と感想を語っていました。

本日使用した資料（[エコたわし](#)）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/petitecostudy01.html>



(2) 親子で福祉体験（第3日目） 7月30日（水）

今日の最終日は、親子で福祉体験でした。前半は、はじめに白杖体験をしてもらいました。アイマスクをつけてもらい、アシスタントの福祉教養科の生徒の介助のもと多目的室を出発し、廊下、中庭を歩いて帰ってくるコースで行いました。みんながみんな「怖かった。」「段差があると歩きづらい」などの感想を持ったようです。この経験がいつか町での声掛けにつながってくれると思います。また、白杖を持たずに、ブラインドウォークも行いました。手探りで歩くことの困難さなど体験してもらいました。後半は、車いす体験を行いました。昇降口の外側にカラーコーンを並べ、その間を車いすを使って操作してもらいました。最後のスロープを上るところなどはかなり疲れたようでした。3日間の体験はこれですべてが終了です。暑い中、毎日参加して下さった家族の皆様ありがとうございました。また、先生方ご苦労様でした。



